

内部質保証推進委員会「中・長期計画到達目標チェックシート」改善策等について
(令和5(2023)年度 第3回 内部質保証推進委員会 2023/10/13審議決定)

【全学自己評価実施委員会】最も改善が必要である区分・目標・具体的計画を記載してください。【一つのみ】	【全学自己評価実施委員会】上記を選択した理由や改善すべき点を記入してください。	該当各部局自己評価実施委員会	内部質保証推進委員会改善指示	内部質保証推進委員会改善指示内容
2_(2)_② 外部研究資金獲得に向けた支援(学術情報委員会)	科研費の採択率、採択件数アップを目標に実施されていると思うが、競合大学と比較して採択数、獲得資金も見劣りする現状と考えられる。結果が出ていない原因の一つとして「目標に対する計画」「計画達成のための具体的実施内容」が「到達目標」に説明のある2018年度からほぼ変わっていないことがあるのではないかと。実質的なPDCAによる改善が行われていないように思えてならない。	◎学術情報委員会	至急改善	(1)競合大学との比較検証を行い、可視化すること (2)採択率、採択件数の向上を行うため、実質的なPDCAについて精査を行い、新たな改善策を検討・立案すること
4_① 基本方針の策定と入学者選抜方法の改善	入試実行委員会で検証した内容が記載されていると思うが、【実施委員会】が◎入試実行委員会、各学部・研究科実施委員会となっているため、各学部や研究科においての入試に関する検討状況も記載が必要だと考える。教務委員会が主担となっている「1_(1)_① 初年次教育の推進・充実」等を参考にされてはどうか。「4_② 入学定員の充足」についても同様である。	◎入試実行委員会 各学部実施委員会	至急改善	入試実行委員会にて、各学部実施委員会での取り組みを集約し、記載すること。記載のない過年度分については、確認すること
5_(2)_企業連携による教育・研究等の促進	企業連携による教育・研究等の促進において、包括協定である大阪府中小企業家同友会や大阪科学技術センター等の経済団体との連携活動を通じて、連携企業に対して、就職活動支援の観点から、学生への就職先の確保に向けて、積極的に働きかけていただきたい。	◎社会連携委員会 学術情報委員会	検討	社会連携委員会、キャリア委員会間で一度協議し、就職先確保についてどこが主体となり進めていくのか明確にすること
5_(3)_1. リカレント教育の推進	今後、学生募集がさらに難しくなることを考えると、リカレント教育を含む、社会人学生の確保が急務と思われます。高齢化を考えると、リカレントだけでなく、高齢者への働きかけも重要ではないかと思えます。教員の協力が得られるかがもっとも難しい点ですが、他大学の動向なども調べ(すでに調査済みだと思いますが)、参考にし、(成功するか否かは別にして)具体的に進めて行くことが大切だと思います。	◎教務委員会 大学教育センター運営委員会	検討	高齢者のリスキリングに対するニーズや他大学の動向を調査し、本学が提供できなかつ受講者数が増加する内容の検討を始めること
6_② 学生福利厚生施設の改善	計画には「学生満足度を向上させるため」とあるにも関わらず、具体的実施項目で記された内容には学生満足度向上につなげる施設改善策にするためのプロセスが含まれていない。	◎法人大学管理運営事項実施委員会	検討	予算の制約が大きい部分ではあるが、法人大学管理運営事項実施委員会にて調整し、学生満足度向上に向けてのプロセス立案には何が必要か、福利厚生担当部署と施設担当部署間で協議を行うことが望ましい
7_(3) 卒業生とのネットワークを活かした取組の推進(大学管理運営事項実施委員会)	計画達成のための具体的実施項目の記載内容を明確にした方がいいと思われる。例えば、大学基準協会が公表している取組事例の一つのように、「同窓会組織と連携し、卒業生・修了生への継続的な学びの機会を提供し、教員・在校生と卒業生・修了生の連携の場を設ける」がある等実現可能な項目があってもいいのではないかと。	◎大学管理運営事項実施委員会	改善	同窓会組織とのネットワークについて、他大学の事例調査を行うとともに阪南大学同窓会と協議の場を持つこと

※全学自己評価実施委員会からの指摘にあった本学の戦略的施策に関する項目2点について、公表を割愛しております。